

英語科の教育目標 : 授業規律の徹底を図り、魅力ある・面白い・わかる授業等を展開することにより、基礎的・基本的な内容の学習指導を徹底し、生徒の進路実現の授業計画を確立することにより、「生きる力」を育む。

卒業時の学習到達目標 : 英語を通じて、相手の話すことや書くことを理解して、かつ自分の考えも伝えることができる。

[1年次] 履修科目 : コミュニケーション英語 I (必修)

		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1 学期 (4月～6月)	コ I (必修)	比較的ゆっくりはっきりと話された70語程度の易しい文章であれば、日常の身近な単語や会話の内容を聞き取ることができる。	簡単な英語や基礎的な定型表現を使えば、自己紹介や自分の近況を説明し、お互いにその内容について質問したり、その質問に答えることができる。	比較的易しい80語程度の文章であれば、意味のまとまりごとに区切って読んだり、ゆっくり話されていれば多少の間違いはあってもALTや音声教材の後に続けてリピートすることができる。	基礎的な定型表現を使用すれば、自分の将来の夢などについて3～4文の簡単な文章を書くことができる。
2 学期 (4月～6月)	コ I (必修)	比較的ゆっくりはっきりと話された80語程度の文章であれば、その内容に関する質問に英語で答えたり、内容を理解するうえで重要な情報を聞き取ることができる。	80語程度の易しい内容の文章であれば、英文を読み、基礎的な英語表現を用いて、ALTの質問に答えることができる。	難易度の低い100語程度の英文で、日常生活を題材にしたものであれば、内容を理解しながら読み進めることができる。	比較的易しく短い文章であれば、ALTの話す英文を多少の間違いはあっても、書き取ることができる。
3 学期 (4月～6月)	コ I (必修)	ALTがゆっくり話す100語程度の文章であれば、その内容を説明したり、ある程度日本語に訳すことができる。	基本的な語句や基礎的ななじみのある表現を使えば、将来の夢や就きたい職業・やってみいたいことなどについて話すことができる。	辞書を使ったり、事前にキーワードを提示しておけば、日本や外国の生活や文化に関する120語程度の文章の内容を理解しながら読むことができる。	辞書を使えば、自分の趣味などについて5～6文の簡単な文章を書いたり、写真や絵を見てそれを説明する英文を書くことができる。

【2年次】履修科目：コミュニケーション英語Ⅱ（必修・選択）・英語表現Ⅰ（選択） 英語会話（選択）

		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
一学期 (4月～6月)	コⅡ (必修)	身近な話題の70語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞き、大まかに理解することができる。	身近な出来事であれば、日常生活（家庭や校内）における初歩的な表現を使って、簡単なやりとりができる。	100語程度のやさしい内容の説明文などであれば、大まかな流れを理解でき、かつ、聞き手に伝わるように音読することができる。	身近な出来事であれば、日常生活（家庭や校内）における初歩的な表現を使って、短い文章を書くことができる。
	コⅡ (選択)	身近な話題の100語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら、英文の概要を聞き取ることができる。	簡単なクラスルームENGLISHを使って、英語による授業に積極的に参加し、ALTと簡単なやりとりができる。	120語程度の比較的やさしい内容の説明文などであれば、教科書の重要語句に注意しながら英文を正確に読みとることができる。	100語程度のやさしい内容の説明文などであれば、基本的な重要表現を使って、まとめたり自分の意見や感想を簡単に述べるることができる。
	英表Ⅰ (選択)	平易な語句を用いた基本例文であれば、その内容を聞き取り、理解することができる。	身近な出来事について述べるのであれば、基本例文を応用して、ある程度表現できる。	基本例文を中心とした短い文章であれば、その内容を理解しながら、正確に音読することができる。	日常生活・個人的な内容（家庭や校内）であれば、簡単な語句や基本的な表現を用いて、短い文章を書くことができる。
	英語会話 (選択)	ゆっくりはっきりと話せば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	日常生活に関する身近な出来事であれば、ALTと基本的な語句や言い回しを使ってコミュニケーションを図ることができる。	比較的平易な日常生活に必要な会話表現であれば、リズムを意識しながら、音読することができる。	ALTが話す簡単な英文に関して多少の間違いはあっても、意味を理解した上で書き取ることができる。
二学期 (7月～10月)	コⅡ (必修)	比較的簡単な100語程度の会話文であれば、それを聞いてその内容を理解でき、英語の質問に大体答えることができる。	100語程度のやさしい内容の説明文などであれば、英文の内容について、基本的な語や言い回しを使って大まかに英問英答ができる。	120語程度のやさしい内容の説明文などであれば、大まかな流れを理解でき、かつ、本文をリズムに気をつけて読むことができる。	身近な出来事であれば、簡単な語句や基礎的な表現を用いて、基本的な文法事項を含んだ英文を書くことができる。
	コⅡ (選択)	興味深い事物に関する比較的平易な紹介文や対話文であれば、その情報や考えなどの重要な部分を聞き取り、その概要を捉えることができる。	120語程度のやさしい内容の説明文などであれば、与えられた話題について、基本的な語句や言い回しを使って、内容に関する自分の感想や意見を話すことができる。	150語程度のやさしい内容の説明文などであれば、キーワードを押さえつつ本文の情報や考えなどの概要を捉えることができる。	日常生活・個人的な内容（家庭や校内）であれば、簡単な語句や基本的な表現を用いて、短い文章を書くことができる。

	英表 I (選択)	基本例文を中心とした短い文章や会話文であれば、その内容を理解しながら、重要な情報を聞き取ることができる。	前もって発話する事を用意した上で、日常生活の物事について、ペアワークで音声練習した英文を全員の前で発表できる。	基本例文を中心とした短い文章や会話文であれば、基本例文を理解した上で暗唱し、音読することができる。	趣味や好き嫌いなどに関するものであれば、簡単な語句や基礎的な表現を使って複数の文で書くことができる。
	英語会話 (選択)	英検 4 級レベルのリスニング問題であれば、設問の英文や会話文を聞いて、その内容を概ね理解できる。	趣味や部活動などのなじみのあるトピックであれば、ALTと英語でやりとりをして、自分の考えを大まかに伝えることができる。	英検 4 級レベルの問題の英文や会話文であれば、その内容を理解しながら、音読することができる。	日常生活・個人的な内容(家庭や校内)であれば、空所補充の会話文を聞いて、ある程度、空所を補うことができる。
三 学 期 (1 1 月 3 月)	コ II (必修)	比較的簡単な 1 2 0 語程度の文章であれば、それを一度聞いただけでその概要を理解でき、英語の質問に大体答えることができる。	身近なテーマに関する 1 2 0 語程度のやさしい内容の説明文であれば、英文の内容について、自分の考えを聞き手に分かるように表現することができる。	1 5 0 語程度のやさしい内容の説明文などであれば、大まかな流れを理解でき、かつ、本文をリズムに気をつけて読むことができる。	自身に関する身近な出来事であれば、時系列に配慮してわかりやすく書くことができる。
	コ II (選択)	興味深い事物に関する比較的平易な紹介文や対話文であれば、内容やトピックに応じて聞き取るべき情報を予想し、メモを取ることができる。	1 5 0 語程度のやさしい内容の説明文などであれば、与えられた話題について、基本的な語句や言い回しを使って、内容に関する自分の感想や意見を聞き手に分かるように表現することができる。	2 0 0 語程度のやさしい内容の説明文などであれば、キーワードを押さえつつ本文の情報や考えなどの概要を捉えることができる	自身に直接的に関わる事実情報についてであれば、平易な表現を使って、情報が正しく伝わるように書くことができる。
	英表 I (選択)	基本的な語句や言い回し、基本例文を中心とした短い文章や会話文であれば、その内容を理解しながら、聞き取ることができる。	身近なテーマに関するやさしい内容の説明文などであれば、自分の気持ちや尋ねたい内容・情報を、聞き手に分かるように表現することができる。	基本例文を中心とした短い文章や会話文であれば、各文を意味のまとまり毎に分け、前から順に意味を理解することができる。	自身に関する身近な出来事であれば、時系列に配慮してわかりやすく書くことができる。
	英語会話 (選択)	英検 3 級レベルのリスニング問題であれば、設問の英文や会話文を聞いて、その内容を概ね理解できる。	自身の趣味や興味あることに関するものであれば、3 0 秒ほど話し続けることができる。	英検 3 級レベルのリスニング問題であれば、設問の英文や会話文を、その内容を理解しながら、読むことができる。	比較的平易な内容の手紙文やメールであれば、要件を的確に伝えることができる。

[3年次] 履修科目：コミュニケーション英語Ⅱ（必修）・コミュニケーション英語Ⅲ（選択）・英表Ⅱ（選択）・異文化交流（選択）

		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
一学期 (4月～6月)	コⅡ (必修)	比較的平易な100語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞き、大まかに理解することができる	比較的平易な基本例文であれば、それを暗誦して、さらに応用して自分のことをペアワークで会話することができる	120語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、大まかな流れを理解でき、かつ、聞き手に伝わるように音読することができる	日常的・個人的内容であれば、生活について、基本的な表現を使って短い文で自分の出来事を書くことができる。
	コⅢ (選択)	難解でない150語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的特徴や内容の展開などに注意しながら、英文の概要を聞き取ることができる。	様々な場面におけるクラスルーム・イングリッシュを使って、英語による授業に積極的に参加し、ALTと簡単な質疑応答ができる。	150語程度のやさしい内容の説明文などであれば、教科書の重要語句に注意しながら、英文を正確に読みとることができる。	比較的やさしい大学入試問題の中の文法・作文問題であれば、解答することができる。
	英表Ⅱ (選択)	日常表現において簡単な用を足すのに必要な指示や説明であれば、その内容を聞き取り、理解することができる。	予測できる日常的な状況について述べるのであれば、比較的平易な語や表現を用いてやり取りができる。	簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い文章であれば、その内容を理解しながら、正確に読むことができる。	日常生活・個人的な内容であれば、簡単な語句や基本的な表現を用いて、私的な手紙、メモ、メッセージ等を簡単な英語で書くことができる。
	異文化 (選択)	比較的平易な文章で書かれた世界の習慣・文化に関するものであれば、おおまかに聞き取ることができる。	日本の衣食住に関する簡単なトピックであれば、ペアで、また、ALTと簡単な英語でやり取りすることができる	難解でない150語程度の外国文化に関するまとまった英文であれば、要点を理解したり、必要な情報を取り出したりできる。	自国の文化を比較的平易な文章で紹介するならば、欧米の高校生に手紙を送る事ができる。
二学期 (7月～10月)	コⅡ (必修)	ゆっくりはっきりとした英語で話されれば、ビデオ・映画を見ながら、単語だけでなく、やさしい英文を聞き取ることができる。	120語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、内容に関するやさしい質問に英語で答えることができる。	150語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、聞き手に伝わるように正確に音読することができる。	文と文を and, but, because 等の簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で50語程度のまとまりのある文章を書くことができる。
	コⅢ (選択)	難解でない170語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的特徴や内容の展開などに注意しながら、英文の内容を聞き取ることができる。	150語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、ALTの教科書の内容に関するやさしい質問に英語で答えることができる。	170語程度のやさしい内容の説明文などであれば、速読を意識して、キーワードなどを拾い上げて読むことができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事等について、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。

	英表Ⅱ (選択)	スポーツ・料理等の一連の行動をゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事等についてであれば、ペアワークで基本例文を応用して、簡単な会話をすることができる。	150語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、標準的なスピードで正確に読むことができる。	自身に直接的に関わる事実情報についてであれば、平易な表現を使って、50語程度の文章を書くことができる。
	異文化 (選択)	外国の文化や習慣について比較的平易な内容であれば、積極的な姿勢でALTの説明を聞き、おおよそ理解できる。	比較的短く簡単なやりとりであれば、外国の衣食住についてALTと簡単な会話ができる。	言語や文化について書かれた170語程度の比較的平易な内容であれば、理解しながら音読できる。	比較的簡単な英文の手紙やメールであれば、要件を的確に伝えることができる。
三 学 期 (1 1 月 〜 3 月)	Ⅱ (必修)	比較的平易な150語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞き、大まかに理解することができる	150語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、重要な情報に関する質問に英語で答えることができる。	170語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、聞き手に伝わるように前から意味をとりながら読むことができる。	基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語であれば、70語程度のまとまった文章を書くことができる。
	Ⅲ (選択)	難解でない200語程度の文章であれば、基本的な英語の音声的特徴や内容の展開などに注意しながら、英文の内容を聞き取ることができる。	170語程度の比較的平易な内容の説明文などであれば、ALTの教科書の内容に関するやさしい質問に英語で答えることができる。	200語程度のやさしい内容の説明文などであれば、各文をチャンクに分け、前から順にチャンク毎の意味を理解することができる。	自身に直接的に関わる事実情報についてであれば、全体としてスムーズな流れがあり、文と文のつながりがある80語程度の文章を書くことができる。
	英表Ⅱ (選択)	比較的平易な150語程度の文章であれば、音声に関する知識や法則を理解し、聞いて既知の語句が理解できる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事等についてであれば、自分の気持ちや尋ねたい内容・情報を聞き手に分かるように表現することができる。	身近な話題から自分の興味がある社会性に関するもので170語程度のやさしい内容であれば、その概要、および事実情報を理解できる。	自身に直接的に関わる事実情報についてであれば、平易な表現を使って、70語程度の文章を書くことができる。
	異文化 (選択)	外国事情について比較的平易な内容であれば、ALTの説明をほぼ理解できる。	自己の興味関心のある話題で、比較的短い簡単なやりとりであれば、ALTと簡単な会話ができる。	外国事情について書かれた200語程度の比較的平易な内容であれば、前から順に理解しながら音読できる。	簡単な内容の手紙文であれば、外国の高校生と簡単なやりとりをするための英文を作ることができる。